

2024年7月3日

卒論生 吉川桜子

精神疾患レジストリデータを用いた経時的 QOL リスクファクターの探索

近年、精神疾患の患者数は世界的に増加傾向にある。また、うつ病や双極性障害をはじめとする種々の精神疾患に関して再発率は50%以上と高い値となっている。したがって QOL スコアに対する関連因子を特定し、精神疾患発症後の QOL をよりよく保つことにより再発防止に努める必要があると考えられる。

精神疾患レジストリ「マイレジストリ(Mental Illness Registry)」は国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターと日本精神神経学会が2018年から構築を進めている精神疾患の大規模患者レジストリである。このレジストリには患者の基本情報や臨床情報とともに、患者本人から電子的に収集する QOL、感情、睡眠に関する情報や、生体情報が登録され、患者の縦断的な経過を追うことが可能となっている。ただ、各項目は必ずしも登録の必要があるわけではないため欠損値が見られ、その取り扱いが問題となる。

本抄読会では、精神疾患レジストリの特徴及びこれまでのレジストリ情報を活用した研究を紹介するとともに、検討している解析手法や欠損値の取り扱い方について検討し、今後の方針を示す。

[参考文献]

1. Nakagome, What is mental illness registry. Psychiatry Vol.42 No.6 42(6):707-715, 2023
2. Nakagome, Mental illness registry - new diagnostic and treatment methods for psychiatric disorders made possible by registry research, Foundation of Psychiatry [6] : 080-093, 2022